

五台山

五台山には数々の史跡や神社。季節を彩る草花や樹木などみどころがいっぱい。知れば知るほど魅力が尽きない。大らかで明かるい高知の自然の中をゆっくり歩けばいろいろなものが見えてくる。緑と歴史が香る山だ。

724年に仏僧行基により、山頂に竹林寺が開かれた。その姿が中国山西省の五台山に似ていることから、この名前がつけられた。標高140mの一角には五台山公園が高知県によって整備されており、展望所からは浦戸湾や鏡川、高知市街を一望することができる。公園に隣接して四国霊場第三十一番札所竹林寺や世界的植物学者牧野富太郎博士を顕彰した牧野植物園もある。

四季折々の花木を楽しむ。春には桜やツツジ、夏のアジサイや新緑、秋には紅葉、冬は雪の積る。

山と街と海がひとつになってとてもいい感じ。

北には田園風景や市街地が広がり、その向こうには工石山などゴキ山連山が連らなって見える。工石山中腹には山内一豊が入国した時、浦戸湾から眺めたという妙体岩も白く光って見える。

早春にはアセビが花を吹かせる。花言葉は「二人で花を」。展望テラスに愛をかけるという想いは永遠になるとも♡

古くは江戸時代の昔おいたものから現代の歌碑、句碑、文学碑があちらこちらに佇んでいる。アセビの「南国土佐」といっての歌碑も山頂にある。

五台山には四国霊場ミニ八十八ヶ所が散在している。一巡すれば本場と同じ大きなご利益と授かるといわれている。1802年から始まったと伝わる。

古代、五台山は浦戸湾に浮かぶ七島のうちで最大の島「大島」と呼ばれていた。「工佐日記」を記した紀貫之が京都へ帰還する途中舟で側を通った。

